

よくある質問 Q&A

【受験勉強について】

Q1. どの教科を重点的に、学習しましたか？

A1. センター試験の教科をくまなく勉強しました。私は、名大の二次試験の数学が難しく感じたので、早い時期からコツコツと勉強をしました(1年生)。大学に入ってから、英語は必須科目に入っているため、高校時代から苦手意識をなくしたほうが良いです(3年生)。

Q2. 受験生にアドバイスをするならば？ 高校時代にやっておけばよかったことは何ですか？

A2. 夜型ではなく、朝型の学習習慣が良いですよ。高校時代に規則正しい生活習慣を身につけておくことで入学してから役立ちます。看護学専攻は勉強だけではなく、体力も必要ですので、部活や趣味など日頃から運動をして体力を付けておきましょう(1年生)。英会話や短期語学留学など高校時代から、もっと英語に慣れ親しんでおけばよかったです(3年生)。ボランティア活動や資格取得などを通して自分の視野を広げたり、もっと色々なことにチャレンジしておけばよかったと思います(1年生)。

Q3. 受験勉強のコツはありますか？

A3. 基礎学力を付けることが二次試験を突破するには大切です。漢字、英単語、古語単語については、高校3年生の夏までに毎日コツコツと覚えましたが(1年生)。看護学専攻は推薦入試もあるので、受験勉強だけではなく毎日の授業を大切にしました(2年生)。

【入学後の生活について】

Q4. どの辺りに住むのが便利ですか？

A4. 看護は実習があるので、実習病院近くの鶴舞が便利です。しかし、授業や卒業研究で大幸キャンパスや東山キャンパスに通学することを考えると、鶴舞へは JR、大幸、東山へは地下鉄という立地の大曽根がお勧めです(3年生)。1、2年生の時は、2時間かけて通っていましたが、実習の期間だけ実習病院の近くに下宿しました(4年生)。私は、温かいご飯もお風呂も用意してくれる実家からの通学が1番だと考えて実家からの通学を選択しました(2年生)。

Q5. 保健学科は他の学部とキャンパスが離れていますが、他学部との交流はありますか？

A5. 1年生は東山での授業が多いので他学部との交流が盛んです(2年生)。全学サークルや部活などではもちろん保健学科以外の学生と知り合えますし、名大祭の実行委員などをすると、先輩後輩を含め、色々な学部の学生ととても仲良くなれます(3年生)。

Q6. 部活やサークルはどのようなものがありますか？

A6. 医学部サークルや部活もありますし、全学主催の部活・サークルにも参加できます。「バスケットボール」と言っても、本格的な部活から、気軽に参加し楽しめるサークルなどたくさんありますので、入学後の新入生歓迎会に参加し、自分に合った部活やサークルを探すことをお勧めします(3年生)。看護学専攻独自のサークルでは、名大病院の小児科に長期入院する小児がんの中高生に、学習支援をする「パレタス」というサ

ーグルがあります。復学後に役立ててもらえればといいなと思っていますが、患児から大学進学について相談を受けることもありますし、病状によってはさまざまな制約があっても、前を向いて学習する子供たちの姿に、私達学生も勇気づけられることがあります(4年生)。

Q7. 学業と部活やバイトとの両立はできますか？

A7. 1,2年生は実習が少ないので、学業・部活・バイトをバランスよくやり、生活や健康に支障をきたすことなくできますが、3年生になると本格的に病院実習が始まり学習量も増えるので、バイトや部活を控えることが多いです。その分、夏季休暇などにバイトをして、バイトが出来ない時期に備えるなど工夫をしています。しかし、中には、4年生まで部活を頑張っている人もいます(4年生)。

【講義や看護学実習について】

Q8. 看護学の面白いところは何ですか？

A8. 人間が対象であり、日々変化があるところや、ゴールや正解が一つだけではなく、考え続けていく必要があるところです(4年生)。看護とは何かを自分の言葉で人に伝えられるようにするために、生涯勉強が必要などころも、看護学の魅力の一つだと思います(4年生)。

Q9. 初対面の大人と話すのが苦手ですが、実習は大丈夫でしょうか？

A9. 受け持ち患者さんのことが知りたくないと、自然に話せるようになってと思います(3年生)。先生や指導者さんがサポートしてくれるので大丈夫です。私は4年生になっても患者さんと話すときは少し緊張しますが、看護はそれだけ責任がある仕事なので、人と話す時にも緊張するのだと思います(4年生)。

Q10. 実習の面白さや大変さはどのようなことがありますか？

A10. 実習の面白さは、教科書通りにはいかないところにあると思います。自分で考えて看護ケアを行い、患者さんから良い反応が返ってきたときや、「ありがとう」と言ってくれた時の患者さんの笑顔にやりがいを感じました(4年生)。私は毎日の実習記録をまとめることと、早起きが大変でした(4年生)。

Q11. 面白い講義や実習はありますか？

A11. 1年生の基礎セミナーでは、看護の学生だけではなく他専攻の学生と共にゼミをして、医療界の問題について書籍や論文を使って詳しく調べて発表したり、ディベートをすることもあります(1年生)。3年生になると興味がある、研究してみたい分野を自分で選択し、その分野を専門としている先生や大学院生などと少人数でテーマに関する報告・議論、文献講読を行うゼミがあり、とても興味深いです(3年生)。4年生になるとゼミ単位でいろいろな課題実習があります。他職種連携(看護以外の医療専門職者)について学んだり、夜勤体験実習、緩和病棟実習、ICUや手術室、介護老人保健施設、保育園などさまざまな場所での実習もあります(4年生)。

【その他について】

Q12. なぜ、名古屋大学を選んだのですか？

A12. 私の場合は、自宅から通えるからです(1年生)。名古屋大学は総合大学であり、その恵まれた環境の中で、看護学を学べることと、自分にやる気と向上心があれば、3キャンパスをまたいで学べる点も他大学にはない特徴だと思います(2年生)。卒業後も大学院に進学し看護について深く探究できるからです。(4

年生)。長期、短期の留学が盛んであり、看護学専攻では、3か国との短期交換留学を行っており、異文化交流ができることも魅力を感じました(3年生)。

Q13. 名古屋大学にはどんな先生がいますか？

A13. 知識、経験が豊富なだけでなく、経歴も様々で人間力が高い先生が多く、話を聞いているだけで楽しいです(3年生)。本屋で看護学の書籍を探していると、名大の先生が書いた書籍がたくさんありますよ(4年生)。

Q14. 在学中に留学はできますか？

A14. さまざまな時期に留学をすることができます。夏季休暇を利用したり、休学し半年～1年の長期留学をする学生もいます(3年生)。名古屋大学の留学制度や文部科学省の国家プロジェクトの制度を受験して留学するなど、自主的に調べ、目的を持っていろいろな国へ学びに行く学生が増えています。帰国後の学校生活や就職、国家試験についても、先生は相談にのってくれます(4年生)。

